

# 推進会議での決定事項（案）

資料 7 - 4

## 1 入湯税引上げの考え方

- ・湯本エリアのみを対象に引き上げを実施。
- ・引上げ分を運用するための基金を創設し透明性を確保するとともに、引上げ分はエリマネ法人が行う公益性の高い事業と景観インフラの維持に充当。

## 2 入湯税使途に関する官民合意の仕組み

- ・引上げ分の財源活用については外部評価委員会を設置し、事業計画を確認。
- ・定期的に事業計画の進捗状況について、検証・評価を実施。
- ・事業計画、事業評価・検証の継続的实施と事業への反映などについて、エリマネ法人と市が協定を締結。

## 3 エリマネ法人の事業内容&区分の考え方

- ・地域の民間組織による出資による株式会社として立ち上げ。
- ・エリア価値を高め、公益性の高い事業を対象に入湯税を財源として事業を実施。

## 4 今後のプロセス、スケジュール

- ・令和 2 年度から本格的に開始される観光地経営を進めるため、令和 2 年 4 月から入湯税の引上げを実施すべく、条例改正等を検討。
- ・エリマネ法人発起人は本年度中の早期に法人立ち上げ、事業体制の確保に取り組む。